

第6回 全国ユース環境活動発表大会

令和3年1月22日(金)～1月29日(金)、
「第6回全国ユース環境活動発表大会 全国大会」が開催されました。
開催にあたり、笹川博義環境副大臣よりご挨拶をいただきました。

ご挨拶

環境副大臣
笹川 博義



環境副大臣を務めております。衆議院議員の笹川 博義です。

第6回全国ユース環境活動発表大会の開催にあたり、一言、御挨拶を申し上げたいと思います。

本大会は、持続可能な社会の実現に向けた環境活動を行う高校生に対して交流や発表の機会をサポートし、活動のさらなる充実を支援することを目的に、環境省、独立行政法人環境再生保全機構、国連大学サステナビリティ高等研究所が共催で開催するものであります。

残念ながら新型コロナウイルス感染症対策の中での皆様方の活動ということになりましたので、その活動にはかなり制約があったのではないかと思います。その中にも関わらず活動し、そして皆で汗をかいて力いっぱい頑張ってくれたことに心から敬意を表し、感謝の意を表したいと思います。

特に高校生たちの活動を支えてくださった先生方や地域の皆様、そして多くの関係者の皆様方、さらには審査を担当していただいた先生方にも改めて深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

また今回は、コロナ禍ということで応募を見送られた学校もあったと思います。是非、次回はチャレンジをしていただきたいというふうに思っております。

さて、世界には気候危機、飢餓、衛生、様々な問題があります。だからこそSDGsという17の目標を定めて、世界各国が、そして多くの人たちがその目標達成に向けて努力をしております。また、していかなければならないと思います。

昨年、我が国では、菅総理が2050年カーボンニュートラルの実現を目指すという国内外に向けて宣言をいたしました。脱炭素社会の実現を目指すという宣言であります。環境省は、気候危機とコロナ危機の解決のため脱炭素社会、循環経済、分散型社会への移行を進めてまいります。各地域のそれぞれの特徴や資源を活用しながら地域からSDGsの実現に取り組む地域循環共生圏を強力に推進してまいります。

その中であって、若い力である高校生の皆様方の活動は大いに力強いものを感じますし、頼りになります。これからも地域社会の中にどんどん出て行って、活動の領域を広げて行って、是非、このSDGs17の達成目標、脱炭素社会実現に向けて力を貸してください。そしてまた、高校生たちの無限な可能性のある力を発揮していただきますようお願いいたします。

最後になりますが、全国の高校生の皆様、そして、生徒の将来を考え、常に生徒に寄り添いながら活動を支えて下さっている先生方、子供たちに温かい手を差し延べていただいている保護者の皆様方、地域で高校生の活動を応援している多くの皆様方に重ねて心から感謝の意を表し、そしてまた今後益々の活動に心からご期待を申し上げながら私の御挨拶とさせていただきます。

どうか今後とも、皆様、宜しく願い申し上げます。